



山梨県流通センターニュース

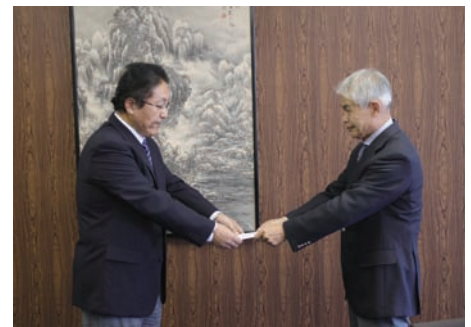
編集・発行 協同組合山梨県流通センター（中央市山之神流通団地2-6-1）
TEL (055) 273-4711 FAX (055) 273-4713



左 展示場内のにぎわい
上 ヴァンフォーレ甲府の選手も参加
左下 パトカー、救急車が勢揃い



わなげを楽しむ親子



赤い羽根共同募金に浄財を贈る

大にぎわい、物品どれも完売

第15回 パザール 赤い羽根に67,790円寄付

第15回「センターでパザール」が9月6日（土）に開かれた。天候にも恵まれ、今年も物販会場の展示場入り口には開始時間前から長蛇の列ができた。

流通会館前駐車場には26店舗の飲食店が出店し、流通会館側道路には働く車としてパトカー、消防車、救急車、クレーン車が並べられ、多くの家族連れでにぎわっていた。物販会場も例年通り、多くの人でごった返し、午前中に完売する店舗も出た。

また、イベント会場では輪投げ大会、スリッパ飛ばし大会、○×クイズ、チラシ持参抽選会、ビンゴ大会、ヴァンフォーレ甲府選手によるサイン会と多くのイベントが行われた。特にビンゴ大会は、優勝者への賞品が海外旅行だったこともあり、例年よりビンゴカードの売れ行きも好調で、大いに盛り上がった。

今年初めての試みのチラシ持参抽選会も無料で参加できるイベントとして注目を浴びていた。

そして、昨年に続き今年も団地内企業・従業員提供によるバザーブースを設け、全商品が完売となった。バザーブースでの売上67,790円は、全額「赤い羽根共同募金」へ寄付し、10月7日には当組合会議室で山梨県共同募金会への贈呈式が行われた。ご協力ありがとうございました。

地域の方々への貢献、交流を目的として行われるセンターでパザールも今年で15回目を迎えた。今後も県内唯一の卸売業の業務団地であることを生かして、物販に重点を置きつつ、地域の方々楽しんでいただけるような一大イベントであり続けるよう努力したい。

「暴力団排除宣言」を行う

栗山 理事 山長 県警に宣言書を提出



暴力団排除宣言をする栗山理事長（右）

当組合の定例懇談会が10月14日（火）に流通会館大会議室で開かれ、組合員・準組合員・外部からの参加者を合わせて49人が出席した。

平成25年度は主要事業、安全・安心な組合を目指す一環として反社会的勢力排除の取り組みを行ってきた。そして「反社会的勢力ではないことに関する表明及び確約書」をすべての組合員の皆さんにご提出いただくことができた。これを受けて、当組合よ

り山梨県警察本部に向けて暴力団排除宣言を行うことになり、その記念として講師に山梨県警察本部組織犯罪対策課長・警視中島義夫氏をお招きし、「暴力団情勢と対策」をテーマに講演会を開催した。

山梨県では指定暴力団稲川会山梨一家の内部分裂により、3年で31件もの発砲事件が起きている。今回の講演では、もしもの場合に備えた、暴力団等に対する基本的対応要領について説明していただき、危機管理の再確認をする機会となった。

<確約書>

組合加入を希望する企業及び全ての組合員企業に、当社及び当社の役員が反社会的勢力ではなく、それに協力又は便宜を与えてはいないことを表明、確約していただき、かつ、上記「表明・確約書」の申告が虚偽であったり犯罪その他信用を失う行為が判明したりしたときに限り組合から除名され、団地から退去することに同意するもの。

「クレームは客からのアドバイス」

研修会中央市商工会と共催する

9月22日（月）、中央市商工会・（協）山梨県流通センター共催の社員研修会「お客様の怒りを笑顔に変えるクレーム対応講座」が流通会館で開かれた。講師は怒りを笑いに変えるクレームコンサルタント谷厚志氏。

共催という形で社員研修会を開催するのは初めてであったが、81人もの受講申し込みがあり、大盛況となった。

谷氏はクレーム全体の1～2割はお客様の勘違いから始まり、6割の人はまた使いたいという思いからクレームを言うと述べた。そして「クレームはお客様からのアドバイスだ」、「儲かっている企業はクレームを大切にしている」、「クレームはゼロにはならない」と述べ、起こってからどう対応するかが大切だと指摘した。

また、クレーム対応の5ステップとして「初めに限定付き謝罪をする」「お客様に共感のあいづちをうつ」「事実確認と要望確認をする」「お客様の了承を得て解決策を提示する」「クレーム対応の最後は

おわびの言葉で終わらない」を挙げて、現場にありがちなクレーム内容を取り上げて話された。

今回の講座は、身近にあるクレームを取り上げていたため、受講者から分かりやすく、参考になったとの声が多く寄せられた。今後も積極的に社員研修会をしていきたい。



社員研修会でクレームへの対応策について話す谷講師

「団地の価値向上」など課題提示

当組合会場に関東甲信越卸商業団地連絡協議会開く

各地独自の工夫も披露し合う

11月13（木）～14（金）の両日、平成26年度関東甲信越卸商業団地連絡協議会が15組合20人の事務局責任者が出席して、流通会館・ホテルレジーナ河口湖で開かれた。代表幹事・高崎卸商社街（協）川岸専務理事、栗山理事長の挨拶があり、協議に入った。

山梨県流通センターは幹事組合として、その現状と課題についてのプレゼンテーションを行った。

当組合の重要課題は『新たな一体性の維持』であり、今後どのような取り組みを行うか次の3項目について説明した。第1に「優れた立地環境を守り、企業活動における県内最適地としての価値を高める」、第2に「組合事業を更に充実させ、有益で有利な事業の創造に努めて収益力を高める」、第3に「組合員同士の横の連携を強める」こと。

プレゼン後、情報交換会へと移り、各組合の取り組み状況の発表に基づき、質疑応答が行われた。

各組合から出された意見内容をまとめると、「新たな団地作りのために、何が必要なのか」、各組合が独自の工夫をして検討している状況が窺えた。



各組合の課題について意見交換する出席者たち

これからの団地の方向性としては、①現状の卸商業団地の形態で継続して行けるのだろうか、②小売業または製造業の形態を組み込む方向に行くのか、③地域をどうやって巻き込んでいくのか等、いくつかの切り口が検討された。懇親会は、ホテルレジーナ河口湖へ移動後、一升びんのワインで乾杯し、交流を深め実りの多い情報交換が行われた。

「安全・安心」な街づくりで意見交換

ベイトウン 尾道 一行5人、当団地を視察



「組合会館新築移転構想」について話す福井理事長

10月21日（火）、協同組合ベイトウン尾道（広島県）の組合員が視察に訪れた。

当日は福井理事長（商団連会長）以下5人の方々と、かねてから、組合会館の新築移転と、跡地への

大型商業施設の誘致で、団地内のにぎわいを創出するべく検討をしているため、当組合の大型商業施設誘致後の状況や課題、今後の事業展開等についての意見交換の申入れがあり、今回の来所となった。

栗山理事長、深沢専務理事、事務局員が対応し、車窓より流通センター内組合員の状況、および流通会館内の施設の視察を行った後、役員室で当組合の事業内容、最適な企業立地を目指した「安全・安心」なまち作り、「新たな一体性の維持」確立に向けた対応等への取り組みの説明が行われた。その後、遊休不動産の有効活用、財務体質の改善状況、防犯監視カメラ等の環境整備状況等について、積極的な実りの多い情報交換が行われ、予定していた2時間30分は瞬く間に過ぎた。

最後に「ホームセンターくろがねや」店舗の現地視察を行い当組合での日程を終了した。

マコトチームが初優勝

ソフト会 準優勝はチームしょうゆ



優勝したマコトチーム



準優勝したチームしょうゆ

平成26年度流通センターソフトボール大会は、10月26日（日）に釜無川スポーツ公園グラウンドで行われた。

当日は天候にも恵まれて、絶好のスポーツ日和となった。開会式は中込裕研修・厚生委員会委員長のあいさつのもと、審判長から注意事項の説明があり、全員でラジオ体操を行ってから予定通り試合開始となった。

参加チームは12チームで、4グループに分けてリーグ戦を行い、勝ち残った4チームが準決勝、決勝へ進んだ。

4グループから勝ち上がったのは、マコト（マコト医科精機株）、チームRITZ（株RITZ）、チームしょうゆ（シキシマ醤油株）、一丁目ノリキーズ（株

オオキ）の4チーム。

決勝戦はマコトとチームしょうゆの戦いとなり、9対1でマコトが初優勝を果たした。2位はチームしょうゆ、3位はチームRITZ、4位は一丁目ノリキーズという結果であった。



決勝戦試合開始に先立ってあいさつを交わすマコト、チームしょうゆ

マコト医科精機Aが優勝

北ブロック 個人優勝は伊藤博志さん

北ブロック懇談会の第7回ボウリング大会が、平成26年11月21日（金）、ダイトースターレーン双葉で行われた。今回は8社から22チーム、計88人の参加があった。

団体の部（2ゲームトータル）

| 順位 | チーム | メンバー | スコア |
|-----|----------|-------------|------|
| 優勝 | マコト医科精機A | 有泉、深沢、飯島、伊藤 | 1488 |
| 準優勝 | マルモC | 穂山、神田、廣瀬、小林 | 1165 |
| 3位 | 日新厨房企画 | 田中、内田、河野、杉本 | 1142 |

個人の部（2ゲームトータル）

| 順位 | 氏名 | 会社名 | スコア |
|-----|------|----------|-----|
| 優勝 | 伊藤博志 | マコト医科精機株 | 408 |
| 準優勝 | 飯島諒 | マコト医科精機株 | 385 |
| 3位 | 深沢俊樹 | マコト医科精機株 | 385 |

団体の部は、マコト医科精機株Aが2ゲームトータル1488で優勝し、個人の部は、伊藤博志さん（マコト医科精機株）が、2ゲームトータル408で優勝した。



優勝したマコト医科精機Aチーム（右から2番目が個人優勝の伊藤博志さん）

来年2月300号に到達



女性社員の意見募集します

現在、年4回発行している組合広報誌「センターニュース」が平成27年2月の発行号（予定）で、300号を迎えます。それを記念して、センターニュース300号は特別号として、流通センター内で働く女性社員から流通センターに対する意見をお聞きする記念企画を行うこととしています。

女性社員の方々から現在の流通センターについて、ま

た今後の流通センターに期待すること等、アンケートにご回答をいただきたいと思っております。

アンケートにご協力いただいた方の中から、抽選でクオカードの贈呈も予定しております。1月上旬にアンケート用紙を送付いたしますので、これからの流通センターを支えていく女性社員の方々の忌憚のないご意見をお待ちしております。

「自らの成長」を確認し合う

新入社員研修 6社から13人が参加

新入社員フォローアップ研修が10月15（水）・16（木）の両日、流通センター大会議室で行われ、6社から13人が参加した。

講師はコミュニケーション・アカデミーの鬼塚啓介先生。今回は4月に行われた新入社員研修から半年が経過したことを踏まえて、自己の振り返りを中心にビジネスマナーの再チェックや問題解決の基本等を学び、レベルアップと今後のモチベーションアップを図ることを目的に行われた。

研修はグループワーク中心で行われ、問題解決の方法を学び議論したり、訪問マナー等のロールプレイングを実施したりと、実践的な内容であった。

参加者たちからは、「自分自身の成長やこれからの目標を改めて見直す機会となった」、「忘れていた基本的なことを学び直すことができた」、「自分に足りない能力に気付くことができた」等の声を聴くことができ、有意義な研修となった。



鬼塚講師の指導で研修する参加者たち

YAHOO! 同時出店による事業拡大検討

生活改善委員会 出店希望者は事務局へ連絡を



YAHOO! 出店に伴う作業方法を学ぶ各社担当者たち

インターネットショッピングモール「楽天市場」に出店している「生活改善委員会」は、販路拡大のため、YAHOO! ショッピングへ試験的に出店を開始した。

YAHOO! の2012年時点インターネットショップとしてのシェアは、約6%となり、楽天市場（約28%）、アマゾン（約14%）に次いで第3位と言われている。

今回の出店で、顧客拡大を計り、売上アップにつなげていきたい。

※楽天市場、YAHOO! ショッピング
生活改善委員会参加企業 随時募集中
お問い合わせ、申し込みは事務局へお願いします。

組合員変更事項

| 組合員名 | 変更前 | 変更後 |
|----------|---------------------|---|
| 首都圏国分(株) | 甲信国分(株) 社長 中村 賢一 | 首都圏国分(株) 社長 福住 卓 副社長(山梨支社 長) 中村 賢一 |

準組合員変更事項

| 準組合員名 | 変更前 | 変更後 |
|---------------|----------|----------|
| 甲府タカヤマ環境計量(株) | 社長 大木 勝志 | 社長 川口 弘之 |

組合員の加入

| 会社名 | 代表者名 | 住 所 |
|--------------------|----------|------------------|
| (株)環境管理コンサル タント | 社長 川口 祐樹 | 山之神流通団地 1-6-1 |

準組合員の加入

| 会社名 | 代表者名 | 住 所 |
|------------|----------|-----------------|
| アールコーヒー(株) | 社長 栗原 健一 | 山之神流通団地 北3番地 |

お悔み申し上げます

当組合理事長 高野本男(十七代 孫左エ門)様には9月26日にご逝去されました。ここに心から哀悼の意を表し、お悔み申し上げます。

『事務局日誌』 ～8、9、10月の主な会議等～

- ◆8月 5日 正副理事長会議
- 7日 生活改善委員会
- 18日 リサイクル・一斉清掃日
- 21日 北ブロック懇談会
- 21日 事務局規約改定会議
- 27日 LoMAの会定例会
- ◆9月 2日 諮問委員会
- 3日 正副理事長会議
- 6日 「センターでバザール」
- 12日 リサイクル・一斉清掃日
- 18日 生活改善委員会
- 18～19日 商団連事務局長会議
- 22日 社員研修会(中央市商工会合同)
- 23日 LoMAの会ゴルフコンペ、懇親会
- 25日 理事会
- ◆10月 1日 事務局規約改定会議
- 2日 研修・厚生委員会
- 2日 ソフトボール大会主将会議
- 7日 赤い羽根共同募金にバザー売上金贈呈
- 7日 正副理事長会議
- 8日 諮問委員会
- 9日 生活改善委員会
- 14日 定例懇談会(講演会 県警本部 組織犯罪課 中島義夫氏)
- 15～16日 新入社員フォローアップセミナー
- 16日 リサイクル・一斉清掃日
- 17～19日 LoMAの会 海外研修
- 20日 消防署立ち入り検査
- 21日 ベイタウン尾道来局
- 22日 社員交流会実施検討会議
- 23日 中小企業団体中央会全国大会(東京)
- 26日 ソフトボール大会
- 29日 北ブロック懇談会

当組合 栗山直樹理事長(株)栗山商店代表取締役)は、第66回中小企業団体全国大会で組合功労者として表彰されました。誠にありがとうございます。

組合職員 田中幸雄氏は、健康保険委員として厚生労働大臣表彰を受け、又、全国中小企業団体中央会から専従優良職員として会長表彰を受けました。

かいがね

先日のことである。私の所属する写真同好会が町の文化行事に参加するというので、用意された展示場で作品の展示作業をした時のこと。会員がそれぞれの作品を持ち寄り、展示し終わってお茶など飲みながらお互いの写真の感想や批評などの話に花が咲き、気のおけない仲間同士のことなので、中には遠慮のない辛辣な発言があったりしたのだが、お互いそれを気にすることもなくワイワイやっていた。

すると、そうこうする内にメンバーの一人、そろそろ齢八十も近い大先輩が、持参したカメラバッグからやお取り出したカメラを見て驚いた。最近発売されたばかりのニコンの高級機。写真愛好家の間では垂涎の機種で、それだけに高価で数十万円もしてなかなか手が出せないのだが、その大先輩、「これ、最近買ったんだよ」と来た。当のカメラ、当然ながらデジタル一眼レフなのだが、そのスタイルが最近のものとは違って一昔前のマニュアル一眼レフ風でレトロな雰囲気が漂う如何にも郷愁を誘う外観なのである。そんな訳で特に中高年に人気が高い。

で、居合わせた面々、驚きとうらやましが入り混じった空気が漂い、「どれどれチョット持たせてみて」などと言いながらそれを手に取り「いいね。よっぽどいい写真を撮らにゃならんね」などなど。と、ご当人「高いカメラでいい写真が撮れりゃ世話ないけどね」、などと謙遜のようなうれしような。ともあれ、しばらくはカメラ談義。そんな中、私とは言う、さすがに口には出さなかったが「あの歳になってよくもあんな高いカメラを買う気になるな。今更、写真を撮り歩くのもままならないだろうに」などと、大先輩に対して不遜な思いを巡らしていたのだが・・・。

そんなことがあって、その日の夕食時。女房にその大先輩の話をする、
「でもね、いくら歳をとってもそれぐらい元気があるほうがいいよ。老けこんですることもなくボケてしまう年寄りよりよっぽどいいわ」。言われてみて、成程、欲望があるぐらいのほうが人間は元気でいられるのかもしれない、と感心し、物欲にしろ何にしろ、欲も得もなくなるとは何の生甲斐もない。かと言って、それほど金もないので物欲の赴くままにあれこれ欲しがることはできないのだが、何もかも我慢しているより健康にも精神的にもいいに違いないと思いついた。

しかし、である。わが女房、他人の事だから如何にも寛大で物分りのいい感想を言っているものの、果たしてそれがわが家のことになったら、そうそう簡単ではあるまい。確かに、今まで私のすることにさしたる異論は差し挟まなかったとは言え、日頃、女房に「年金はほとんど少なくなって、これからの世の中、長生きは地獄だ」などと言っている手前、地獄にならない老後のためにも、それに備える姿勢ぐらいは見せなければなるまい。

(M)